

国際シンポジウム INTERPRAEVENT2026

～気候変動下における複合自然災害とリスク管理～



環太平洋インターベント協議会
環太平洋インターベント2026実行委員会

近年、我が国のみならず世界的に地球温暖化の影響による集中豪雨や大型台風によって、地すべり、土石流、洪水やこれらが相まった土砂・洪水氾濫が発生し、未曾有の被害に見舞われている。また、地震や火山噴火によっても大規模かつ複合的な自然災害が頻発しており、人命や財産、生活や経済産業の基盤に対する脅威となっている。

今後も、気候変動や地震、火山噴火に伴う複合自然災害に対するリスクと隣り合わせで暮らす人々とは、これらに適応し共存していく必要があり、これまで培われた技術や経験、教訓を共有するとともに、今後の防災・減災に関する研究及び考察を深め、適切な対応策を積極的に世界へ発信していくことが極めて重要である。

このため、「気候変動下における複合自然災害とリスク管理」をテーマに、世界の技術者、研究者、行政関係者が北海道に集う「環太平洋INTERPRAEVENT2026」を開催する。

期　　日：令和8年(2026年)10月20日(火)～10月23日(金)
 開　　催　地：北海道札幌市(会場:札幌コンベンションセンター 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)
 主　　催　環太平洋インターベント協議会、環太平洋インターベント2026実行委員会
 共　　催：International Research Society INTERPRAEVENT
 　　公益社団法人砂防学会、一般社団法人国際砂防協会
 協　　賛：(一社)全国治水砂防協会、(一財)砂防・地すべり技術センター、
 　　(一財)砂防フロンティア整備推進機構、(一社)斜面防災対策技術協会



有珠山と洞爺湖温泉街を守る砂防施設



白金温泉と砂防施設(美瑛川)



地震後の土砂災害対策施設(日高幌内川)



十勝岳とヌッカクシ富良野川上流の砂防堰堤

テー マ 気候変動下における複合自然災害とリスク管理

日 程	令和8(2026)	主なイベント	夜
	10月20日(火)	受付、開会式、基調講演	意見交換会
	10月21日(水)	口頭・ポスターセッション、コアタイム	
	10月22日(木)	口頭・ポスターセッション、コアタイム 閉会式	
	10月23日(金)	現地視察研修	

※意見交換会は、ホテルライフォート札幌にて行います。

◆参加費用

登録日	一般	学生(30歳未満)
令和8(2026)年4月1日～7月31日まで	50,000 円	10,000 円
令和8(2026)年8月1日～9月15日まで	60,000 円	12,000 円
令和8(2026)年9月16日以降	70,000 円	14,000 円
意見交換会(歓迎会)参加費	10,000円	
昼食弁当代(10月21,22日)	1,500 円/日	
現地視察研修会費	Ex1、Ex3、Ex5 12,000円 Ex2、Ex4 22,000円	

※費用については今後変更の可能性があります。

※現地視察研修会は5コースとも最小催行人数25人。料金には昼食、入館料を含んでいます。

※参加費には宿泊費は含まれていません。

参加申し込み : 参加事前登録用ウェブサイトは令和8(2026)年4月に開設予定です。

言 語 : 使用する言語は英語です。

基 調 講 演 : 数カ国から選ばれた講師に、各国の近年における災害の特徴及び災害対策、防災研究の方向性などについて、講演をいただきます。

◆トピックス : これらのセッションでは、地震、火山噴火、洪水、土石流、地すべり、雪崩などの複合自然災害を対象とし、以下の6つのトピックに大別します。
()内は、トピックに関連するキーワードです。トピック選択の参考にしてください。

トピック1: 土砂移動モニタリング、モデリング、シミュレーション
(斜面崩壊・地すべり、土石流、流砂系、水文、数値解析、リモートセンシング)

トピック2: 大規模災害: 現象と対策
(深層崩壊、泥流、洪水、火山砂防、山火事後の土石流、地震、氷河湖決壊洪水)

トピック3: ハード対策: 計画・設計・施工・維持管理、地域活性化、自然環境
(山腹工、流路工、砂防堰堤、遊砂地、保安林、住民参加森づくり、施設マネジメント)

トピック4: ソフト対策: 警戒避難、ハザードマッピングと土地利用計画
(河川情報システム、住民参加、避難訓練、教育、保険)

トピック5: 応急対応、復旧
(ドローン調査、緊急排砂・排水、仮設工事、無人化施工、復興計画立案)

トピック6: 国土強靭化: 複合自然災害リスク管理のための政策、戦略
(国家レベルの政策・戦略、地方自治体の取組、総合リスク評価、防災減災投資、官民連携による防災計画、流域治水)

◆口頭発表・ポスター発表の投稿について:

- Full Paper(以下、「FP」)又は、Extended Abstract(以下、「EA」) の投稿は、論文投稿システム(Editorial Manager)を通じて、実施して頂きます。URL: <https://www.editorialmanager.com/jsece-ip/>
 FP又はEAを投稿する際、希望する発表形式(口頭発表、ポスター発表)を確認させていただきます。但し、編集小委員会の選定により、ご希望どおりにならない場合もございます。
- 口頭発表を希望する方は、FPを2025年9月30日までに論文投稿システムより提出することが必須です。また、その後の査読により受理され、編集小委員会から選定されると、2026年5月31日までに参加登録することが必要となります。なお、口頭発表に選定されなかった方には、ポスター発表を依頼させて頂きます。
- ポスター発表を希望する方は、EAを2025年9月30日までに論文投稿システムより提出することが必須です。その後の査読により受理され、編集小委員会から選定されると、2026年5月31日までに参加登録することが必要となります。ポスター発表を希望する方もFPを提出することは可能です。なお、会場に掲示するポスター原稿は、事前に提出する必要ありません。具体的掲示方法等は、ポスター発表の決定に伴い、ご案内させて頂きます。
- FPは、Interpraevent2026のホームページに掲載した投稿規程(guideline_FP_IP2026)及び、様式(format_FP_IP2026)に基づき、A4サイズ図表・写真込、5~8ページで作成するとともに、2ページ以内の要旨を作成(様式(format_EA_IP2026)を使用)し、投稿して頂きます。
- **査読後受理され、参加費を支払った方のFPは、砂防学会の国際誌である「International Journal of Erosion Control Engineering」(<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ijece>)の特集号として、デジタル的に掲載されます。**また、同FPの要旨・Abstractは、Interpraevent2026 Web抄録サイトに掲載されるとともに、大会終了後、Interpraevent本部のホームページに正式なプロシーディングとして掲載されます。
- EAは、Interpraevent2026のホームページに掲載した投稿規程(guideline_EA_IP2026)及び、様式(format_EA_IP2026)に基づき、A4サイズ図表・写真込、2~5ページで作成・投稿してください。査読後受理され、参加費を支払った方のEAは、Interpraevent2026 Web抄録サイトに掲載されるとともに、大会終了後、Interpraevent本部のホームページに正式なプロシーディングとして掲載されます。
- 2026年9月開設予定のInterpraevent2026 Web抄録サイトは、参加費を支払った方が閲覧することができます。但し、当該サイトは、大会終了後、一定期間が過ぎると閉じられますので、長期間閲覧することはでき

★若手研究者を対象とした表彰(Student Awards)について

- 大学、大学院等に在籍する30歳未満の学生は、**Student Awards**に参加することができます。参加を希望する学生は、在学している証明書類を事務局にメールにて提出してください。
- 提出されたFP(Full Paper)について審査を行い、最大10件の優秀論文を選出します。
- 国際シンポジウムのStudent Sessionにて、優秀論文者が口頭発表し、その中から、最大5名の最優秀論文者を選出します。優秀論文者は初日の意見交換会に無料で招待されます。また、優秀論文者及び最優秀論文者には、閉会式にて賞状及び賞金が授与されます。
- EA(Extended Abstract)提出者は、国際シンポジウムのポスター発表会場での説明と質疑応答が審査され、最大10名の優秀者が選出されます。優秀者には閉会式にて表彰が行われます。

◆今後の予定

FP,EAの投稿開始	令和7(2025)年4月1日
3rdサーチュラーの発行	令和7(2025)年9月30日
FPの投稿締切	令和7(2025)年11月30日
EAの投稿締切	令和7(2025)年11月30日
FP,EAの受理・不受理の通知	令和8(2026)年2月28日
参加事前登録の開始	令和8(2026)年4月
発表者の参加事前登録(事前割引)締切	令和8(2026)年5月31日
口頭及びポスター発表の採択の決定通知	令和8(2026)年7月
ファイナルサーチュラーの発行	令和8(2026)年9月

◆現地視察研修について：

現地研修には、活火山の多い北海道において火山砂防を行っている十勝岳、樽前山、有珠山のコース、札幌市の都市化に先行して砂防事業を実施したコース、札幌市内にて北海道の歴史を探索するコースの計5コースを予定しています。各コースとも参加可能人数に限りがございますので、ご希望に添えない場合があります。
※ 5コースとも最小催行人数25人。料金には昼食、入館料を含んでいます。

○Excursion1) 北海道の歴史探索コース 「北海道開拓の歴史」



北海道庁旧本庁舎(赤レンガ庁舎)



野外博物館 北海道開拓の村

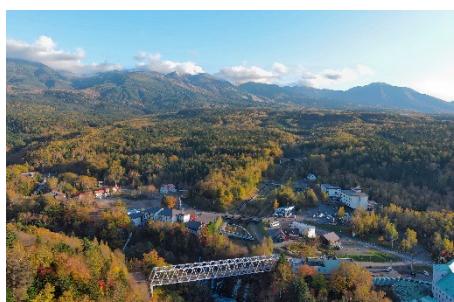


サッポロビール博物館

北海道開拓157年の歴史を札幌市内にて見学を行います。北海道行政の中心となった道庁赤レンガ、北海道の教育研究の一大拠点であり、北海道の開拓と発展の礎の役割を果たしてきた北海道大学、北海道開拓の村にて北海道開拓の歴史、北海道初のビールを醸造したサッポロビールの博物館を見学し、昼食には北海道名物のジンギスカンを堪能します。

○Excursion2) 十勝岳 火山地域の砂防コース

「融雪型火山泥流による国内最大規模の土砂災害発生から100年」



美瑛川渓流保全工



ヌッカクシ富良野川砂防堰堤



美瑛川「青い池」

大正15年（1926年）に発生した融雪型火山泥流から100年が経つ活火山の十勝岳。整備された砂防施設や展望台からの火山見学、一大観光地となった「青い池」などを見学し、火山対策の状況、火山の恵み、火山との共生について学びます。

○Excursion3) 樽前山、北海道胆振東部地震の砂防コース

「大規模地震による山腹斜面テフラ層の崩壊、地すべり

⇒河道閉塞、都市域近傍の火山での融雪型火山泥流対策」



樽前山 覚生川砂防堰堤



日高幌内川 大規模斜面崩壊と河道閉塞状況



ウポポイ 民族共生象徴空間

活火山の樽前山にて整備をおこなっている砂防施設を見学するとともに、平成30年（2018年）の北海道胆振東部地震により発生した土砂災害における施設整備を見学します。また、ウポポイ（民族共生象徴空間）にて北海道先住民族のアイヌ文化について学びます。



○Excursion4) 有珠山 火山地域の砂防コース

「火山と人間の生産・生活圏が極めて近い火山地域での土砂災害の減災」



有珠山2000年噴火



有珠山 西山川砂防堰堤



洞爺湖 温泉街

1977年および2000年に噴火をし、甚大な被害を発生させた活火山の有珠山。2000年噴火では大規模な被害があったものの的確な避難実施により人命被害を生じさせませんでした。

当コースは、展望台からの火山見学や、噴火前後に整備を行った砂防施設、2000年噴火の災害遺構を見学し、火山対策の状況、火山の恵み、火山との共生について学びます。

○Excursion5) 琴似発寒川 大都市札幌の砂防コース

「都市化に先行し、札幌の発展の礎となった砂防事業」



札幌市市街地を流れる琴似発寒川



琴似発寒川(北海道初の渓流保全工)



羊ヶ丘展望台

琴似発寒川は昭和33年（1958年）に北海道にて初めて渓流保全工を実施した渓流です。都市化に先行した砂防施設整備を見学するとともに、観光地である「羊ヶ丘展望台」、「大倉山ジャンプ競技場」などを視察し、昼食には北海道名物のジンギスカンを堪能します。

◆行政展示：防災関係機関による行政展示コーナーを会場内に設けます。

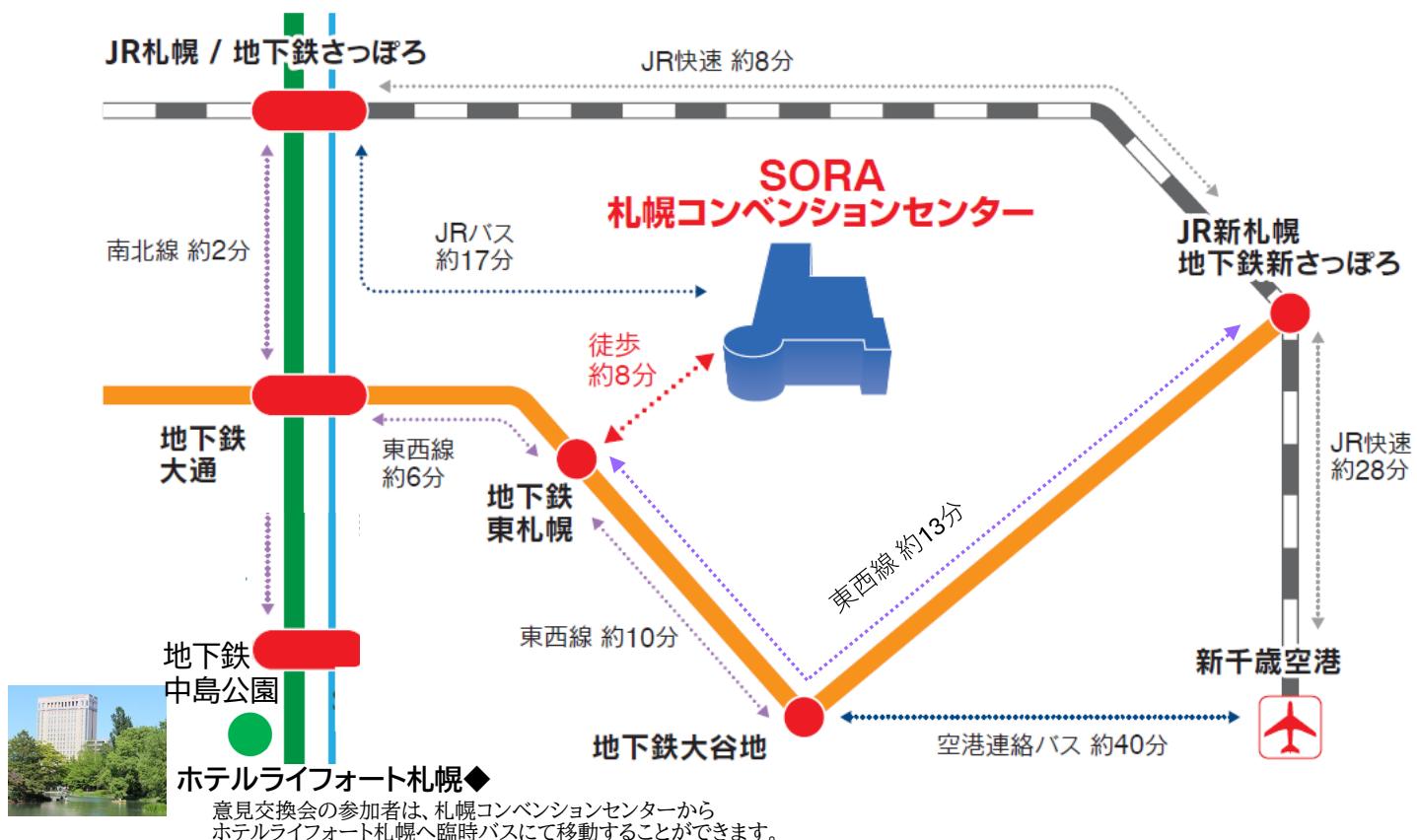
◆企業展示：防災関係企業による企業展示コーナーを会場内に設けます。

2025年内にホームページで出展募集(一般公募)のお知らせを行う予定です。

◆その他：本シンポジウムはCPD単位の取得対象を予定しています。

会場へのアクセス

- 東京国際空港(羽田) ⇄ 新千歳空港(約1時間30分)
- 成田国際空港(成田) ⇄ 新千歳空港(約1時間45分)
- 関西国際空港(関西) ⇄ 新千歳空港(約2時間)
- 中部国際空港(名古屋) ⇄ 新千歳空港(約1時間35分)
- 新千歳空港 ⇄ 札幌コンベンションセンター



環太平洋インタープリベント2026実行委員会組織

実行委員会 (敬称略、五十音順)

名 誉 顧 問	鈴木 直道	北海道知事
顧 問	石川 芳治	東京農工大学名誉教授
顧 問	丸井 英明	新潟大学名誉教授、インターパリベント名誉会員
実 行 委 員 長	山田 孝	北海道大学名誉教授、(公社)砂防学会会長
副実行委員長	大野 宏之	(一社)全国治水砂防協会理事長
委 員 員	今井 一之	(一財)砂防フロンティア整備推進機構理事長、(公社)砂防学会理事・事業部会長
同	上村 明弘	北海道建設部土木局長
同	内田 太郎	筑波大学教授、インターパリベント理事・科学技術委員会委員、(公社)砂防学会理事
同	岡部 博一	北海道開発局建設部河川計画課長
同	笠井 美青	北海道大学教授、(公社)砂防学会理事
同	栗原 淳一	(一財)砂防・地すべり技術センター理事長、(公社)砂防学会副会長
同	権田 豊	新潟大学教授、(公社)砂防学会理事・研究開発部会長
同	五味 高志	名古屋大学教授、(公社)砂防学会理事・国際部会長
同	桜井 豈	国土交通省国土技術政策総合研究所土砂災害研究部長
同	椎葉 秀作	国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課長
同	堤 大三	信州大学教授、(公社)砂防学会理事・編集部会長
同	水野 正樹	(国研)土木研究所土砂管理研究グループ長
同	南 哲行	(一社)斜面防災対策技術協会副会長
監 事	後藤 宏二	(一社)建設コンサルタント協会技術部会国土基盤技術委員会 砂防・急傾斜専門委員会委員長
監 事	松尾 新二朗	(公社)砂防学会理事・経理部会長

編集小委員会 (敬称略、五十音順) ※編集小委員長が指名する幹事会委員

委員長	五味 高志	名古屋大学	
委員	荒田 洋平	(地独)北海道立総合研究機構	東京農業大学
同	池田 誠	八千代エンジニアリング(株)	宮崎大学
同	石井 靖雄	(一財)砂防・地すべり技術センター	東京農工大学
同	今泉 文寿	静岡大学	国土技術政策総合研究所
同	内田 太郎	筑波大学	信州大学
同	岡本 隆	(国研)森林総合研究所	京都大学防災研究所
同	小山内 信智	(一財)砂防・地すべり技術センター	東京大学
同	影山 大輔*	国土交通省北海道開発局	日本工営(株)
同	笠井 美青	北海道大学	(株)建設技術研究所
同	笠原 玉青	九州大学	岩手大学
同	金澤 瑛*	(国研)土木研究所	京都大学
同	神山 嬢子	(国研)土木研究所	京都大学防災研究所
同	岸本 優輝	国土技術政策総合研究所	(公社)砂防学会
同	木村 誇	愛媛大学	鳥取大学
同	ゴメス クリストファー	神戸大学	ガジャマダ大学、インドネシア
同	権田 豊	新潟大学	逢甲大学、台湾

◆運営小委員会 (敬称略、五十音順) ※運営小委員長が指名する幹事会委員

委員長	上村 明弘	北海道建設部土木局			
委員	阿部島 啓人	北海道砂防ボランティア協会	委員	南里 智之	(公社)砂防学会 北海道支部
同	岡部 博一*	国交省北海道開発局河川計画課	同	西山 泰幸	国交省北海道開発局旭川開発建設部
同	小沼 忠久*	(一社)斜面防災対策技術協会北海道支部	同	宮坂尚市朗	(一社)全国治水砂防協会北海道支部
同	今 日出人	(一社)建設コンサルタント協会北海道支部	同	矢部 浩規	(国研)寒地土木研究所
同	田代 隆志	国交省北海道開発局室蘭開発建設部	同	吉田 敏*	北海道建設部土木局河川砂防課
同	千葉 新次	(一社)北海道地質調査業協会	同	吉村 元吾*	国土交通省砂防部砂防計画課
同	中島 康博	国交省北海道開発局札幌開発建設部	同	渡辺 亮	(一社)北海道測量設計業協会

○令和7(2025)年11月30日時点
○記載内容は予告なく変更する場合があります

環太平洋インターパリベント2026実行委員会事務局 (石原洋介、岡本敦、城ヶ崎正人、千田容嗣、渡正昭)
住所:〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 (一社)国際砂防協会内
電話:03-6380-9044 E-mail: interpраevent2026@kokusaisabo.or.jp
URL: <http://www.kokusaisabo.or.jp/interpраevent2026/index.htm>



October 20th–23rd, 2026

Photo by ASIA AIR SURVEY
co.,ltd and AERO ASAHI co.,ltd

国際シンポジウム INTERPRAEVENT2026 ～気候変動下における複合自然災害とリスク管理～

INTERPRAEVENT 2026 International Symposium in the Pacific Rim

～Risk management for multi natural hazards under climate change～

provided the source
'Geospatial Information Authority of Japan'

会 場 札幌コンベンションセンター Venue Sapporo Convention Center

令和8(2026)年

10月20日(火) 開会式,基調講演

ウェルカムレセプション

10月21日(水) 口頭発表,ポスターセッション

10月22日(木) 口頭発表,ポスターセッション,閉会式

10月23日(金) 現地視察研修

論文投稿・Student Awards受付中
Now accepting paper submissions & Student Awards

公式ホームページ

Please visit the official website:

<https://www.kokusaisabo.or.jp/interpраevent2026/index.htm>




INTERPRAEVENT 2026
Sapporo, Hokkaido, Japan

- 主催 Organized by:
 - ・環太平洋インタープリベント協議会
The Pacific Rim Research Society INTERPRAEVENT Committee of Japan
 - ・環太平洋インターパリベント2026実行委員会
Organizing Committee of INTERPRAEVENT International Symposium 2026
- 共催 Co-organized by:
 - ・国際防災学会インターパリベント
International Research Society INTERPRAEVENT
 - ・公益社団法人砂防学会
Japan Society of Erosion Control Engineering
 - ・一般社団法人国際砂防協会
International Sabo Association
- 協賛 In cooperation with:
 - ・一般社団法人全国治水砂防協会
Japan Sabo Association
 - ・一般財団法人砂防・地すべり技術センター
Sabo & Landslide Technical Center
 - ・一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構
Sabo Frontier Foundation
 - ・一般社団法人斜面防災対策技術協会
Japan Association for Slope Disaster Management